



長業山妙興寺は千葉市最古の
日蓮宗に属する名刹である。建治
元年(1275)日蓮聖人の高弟で六老の頂上
上人の門下日台上人の開基、慶長元年(15
96)僧侶の学問所。壇林を開き以後
天保5年(1834)まで239年間続いた。
入夏目、茅賀と再度の火災により堂
宇ごとく焼失。慶応3年(1857)
り7年の年月をかけて
建立されたのが現在
の寺である。

道標
妙興寺のしだれ桜。
この桜はむかし野呂
の人達が、今の泉自
然公園の中にある坊
山という寺のあった場
所から、由緒ある桜
だ」ということで、移植した
ものである。またお杖桜は
日蓮聖人が妙興寺を訪ず
られた際、杖に使って来た桜
が根付いた
と言わ
れている。

康正元年(1455)室町時代こ
の街道を造成するとき築
いた一里塚である。周
辺に二筋の道跡
が残っており、ぬ
かるんだ当時のお
もかげを残
している。
旧東金街道にあ
る一里塚はこ
のヶ所だけ
かと思
われる。

旧東金街道
康正元年(1455)室町時代に香取郡小見川城
主 東常緑が、家来の東金城主、浜春利に命じて造ら
せた道である。江戸銚子間の街道の一つで、諸書から
みると軍事上、交通運輸上の必要から開かれたもので
後に寛文3年(1663)酒井定隆が中野城(現本城寺)を築
城して、一時居城とした。安房の里見藩にとっては重要な
拠点の一つであった。古代の東金みちには、中野町本郷台よ
り千葉中を経て、蘇我野までであった。現在の東金街道は
川井、佐和を通らず、中野町宮田台から高根、北谷津、大草を
経て千葉市街に至っている。セブンイレブンの川井坂にア
ジサイに埋って旧東金街道の記念石碑がある。このあたり
が、東金、千葉、佐倉の分岐点で追分けになっていた。むか
し文明屋という旅館屋があった